

地域おこし協力隊

vol. 8

『わたなべ かなこ』の活動日記



2023年6月に松阪市地域おこし協力隊員として着任してから1年半が経ちました。思い返せば、着任して最初に西川校長先生にお声がけいただき飯南高校でピザ作りの授業にサポートに入らせて頂いたのがとても印象的でした。班毎に生徒さん其々の個性が光る調理実習で、個々に合った進め方等を互いに考えながらの授業サポートに参加。夏には野草の樹皮採取を始めて、香肌小学校5～6年生の生徒さん達と、【野草の樹皮でかご編み】の授業を実施。地域で簡単に手に入る材料を使ったモノづくりの手軽さと、在る物を活かす授業をさせていただきました。

秋には、地域の方々にご協力いただき休耕田を活用した畑作りを実施。県の農業指導員の方々や、地域住民の方々にご協力いただきながら一緒に小麦畑を作り、翌年5月～6月にかけて地域の方々に助けて頂きながら小麦の刈取りを実施。地域イベント開催時には、採れた小麦を使ってパンやお菓子等の試食していただいたり、公民館行事の調理材料の一部に活用させていただきます。内容は、いつも地域の方へ【暮らしの中に手軽に取り入れられる彩り】をコンセプトに考えています。

昨年から地域交流イベント「協力隊喫茶」を飯島隊員（2024年9月末退任）と始め、各地域を回らせていただけてきました。お陰様で参加くださる地域の方々に、私たち協力隊の活動について知ってもらえたり、沢山の方々と交流させていただいています。

また、松阪市社会福祉協議会さんの【いー南カフェ】とコラボイベントの開催も定期的実施。開催内容は様々で、地域クイズや、体験イベント等の企画開催をしています。



“居場所作り”“集いの場”として利用いただき、笑顔の溢れる地域の方々の憩いの場になっています。

次回、スマホ教室も開催予定計画で、生活に欠かせない「手軽で便利な使い方」等を教室の中でお伝えしていく予定です。

＼ 協力隊の日々の情報はこちらをチェック！ ／

松阪市地域おこし協力隊の

 Instagram



松阪市地域おこし協力隊の

 Facebook



※地域おこし協力隊・・・人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を行ってもらい、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度です。